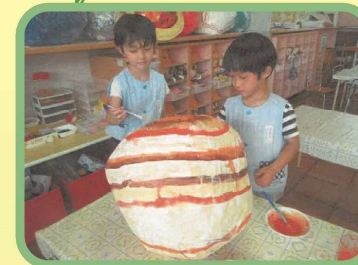


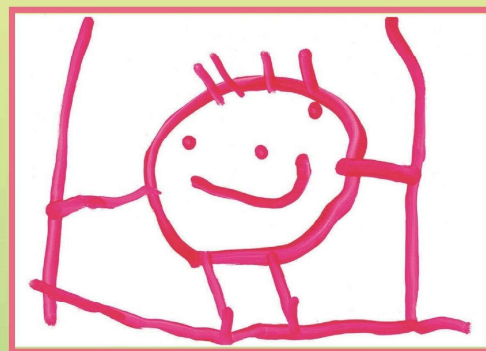
こんなことが表現につながります

楽しかったこと、うれしかったことなど、心を動かすできごとに出会ったとき、
子どもは自分なりに言葉や体、絵などで表現しようとしています。



3歳児の絵の表現の特徴

なぐり描きをしながら、腕を思いのままに動かして楽しんだり、描いたものを自分なりに具体的なものに見立てたりします。何度も何度も繰り返し描くことを楽しみながら形をとらえていきます。



「ブランコで立っているところ」

4歳児の絵の表現の特徴

興味や関心のあるものを感じたままに表現するようになります。また、思いつくままに次から次へと描くなかで、いろいろな色を使うことを楽しむようになります。

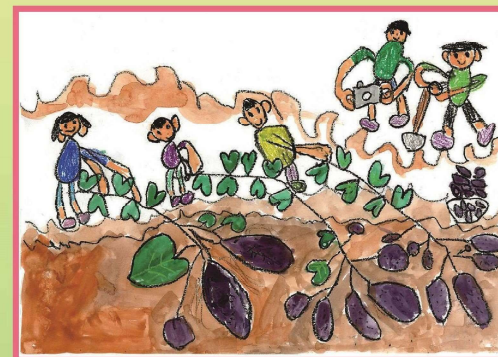


「キリンを見たよ 草を食べてるの」

5歳児の絵の表現の特徴

見たことや印象に残ったことを描くようになります。ものごとを自分なりにとらえようとよく見るようになります。色や形など細かい部分まで表そうとします。

また、想像の世界や、友達と感動を共有したできごとでも表現するようになっていきます。



「ツルを引っ張ったらどんどん芋が出てきたよ」



「どんぐりいっぱいひろったよ」



「ぞうがトマトのごはんを食べているよ」



「大手町のえきはたのしいよ」